

諦めているその症状にちよつと待った！ 甲状腺の病気や糖尿病が原因かも？！

40歳を境に女性の身体は変化する

40歳を超え、閉経を迎えることで、女性の身体は大きく変化します。それを知らせてくれる一つに更年期症状があります。発汗やほてり、動悸、イライラ、不眠、便秘や下痢、元気が出ないなど、症状は人

によってさまざまです。その感じ方もそれぞれです。そして多くの人が、いわゆる更年期による「年のせいだから仕方

がない」と諦めてしまっていることが少なくありません。しかし、これらの症状が、実は甲状腺の病気の原因となっていることもあることを知っています。ぜひ、

「一人一人の患者さんに最良の医療を提供したい」とスタッフ一丸となって患者をサポート

さらに、若い頃の女性は女性ホルモンに守られているため、男性に比べて糖尿病や動脈硬化は起こりにくいといわれていますが、閉経を迎えることで女性ホルモンが急激に減少すると、脂質異常症や糖尿病、そして動脈硬化のリスクは高まっていくのです。ですから、この年代を迎える時期には、一度動脈硬化のチェックをした方が良いでしょうし、健診などでコレステロールが高ければ治療を受けた方が良いでしょう。この

他にも繰り返し起こす婦人科感染症や膀胱炎、頻尿や尿漏れなどの排尿障害、歯周病などの根本原因として糖尿病が隠れていたということもあります。

例えば、甲状腺の病気では、妊娠や出産に影響を及ぼすこともあるほか、肌の乾燥や薄毛・脱毛など、美容にも関わることから、20歳から40歳くらいの方では甲状腺の病気を心配されて医療機関を受診さ

れる方は少なくありません。40歳以上の方でも美容の観点から気にされて受診される方もいますが、「年のせいだから仕方がない」と諦めていることの中には、正しい治療を受けることで解決することもありますので、ぜひ一度かかりつけの先生や専門医に相談してみることをお勧めします。



常勤医の竹内理恵先生。男性医師には話しにくいような相談にも優しく応じてくれると評判



甲状腺エコー検査は女性技師が担当。女性が受診しやすい診療体制が整っている

る方も少なくありません。40歳以上の方でも美容の観点から気にされて受診される方もいますが、「年のせいだから仕方がない」と諦めてしまっていることが少なくありません。しかし、これらの症状が、実は甲状腺の病気の原因となっていることもあることを知っています。ぜひ、

他にも繰り返し起こす婦人科感染症や膀胱炎、頻尿や尿漏れなどの根本原因として糖尿病が隠れていたということもあります。

さっぽろ
糖尿病・甲状腺クリニック
tel.011-707-1024
札幌市北区北7条西2丁目8-1 札幌北ビル2階
受付時間／平日、第2・3土曜 8:00～17:00
第1・4土曜 8:00～12:00
休診日／日曜・祝日
※診療時間の変更や臨時休診の場合あり
※予約制(電話・ウェブ予約)
http://sdct.jp/



院長 竹内 淳さん

1998年旭川医科大学卒業。2008年北海道大学大学院医学研究科博士課程修了。13年4月開院。日本糖尿病学会、日本甲状腺学会各専門医ほか。医学博士